

ステンレス製ドリンクサーバー (ドリンクスター) 取扱説明書



クーラーボックス・ドリンクサーバー・
アイスボックス(どぶづけ)・
冷温水兼用ウォータークーラー(給茶機)
レンタル専門店

笑顔の Patton Touch
上州物産株式会社

〒379-2166

群馬県前橋市野中町369-2

TEL : 027-289-6080

FAX : 027-289-6166

「クーラーボックス・ドリンクサーバー・アイスボックス(どぶづけ)
・冷温水兼用ウォータークーラー(給茶機)レンタル専門店」ホーム
ページへアクセスする場合はこちらのQRコードを読み込んでください。



要注意！！

故障に関する注意点ですので
ご使用前に必ずお読みください。

【注意点1】

こちらの商品は運送中に横積みされた可能性がございますので、設置後、必ず2時間以上経過してから電源を入れてください。

2時間以内に電源を入れると、コンプレッサーが故障します。

特に冬季は気温が低いため、冷媒が固まりやすくなりますので、4時間程度待ってから電源を入れてください。

目次

本製品をお使いになる前に	1
安全上のご注意	1
●据付け時の警告	2
●操作時の警告	3
●移設・廃置時の警告	3
●据付け時の注意	4
●操作時の注意	4
●転売や譲渡するときの注意	5
各部の名称とはたらき	6
梱包内容一覧	7
●梱包内容を確認したら	7
据付けについて	8
操作のしかた	10
運転をするには	10
飲料を取り出すには	11
運転を停止するには	11
お手入れについて	12
毎日のお手入れ	12
●容器と容器内の部品の洗浄	12
●クーリングプレートと天板の清掃	14
●ドレンパンとドレンプレートの洗浄	14
●洗浄後の部品の組み立て	15
汚れが目立つときのお手入れ	18
●本体のお手入れ	18
1 ヶ月に 1 回のお手入れ	19
●エアフィルターのお手入れ	19
1 ヶ月 1 回の点検	20
●漏電遮断器の動作確認	20
年に 1～2 回の点検	20
●アース線の点検	20
●電源プラグの点検	20
修理を依頼する前に	21
仕様	23
返却時の梱包方法	24
PP バンドの使用方法	29

【レンタル商品の消費電力を御確認下さい】

ご利用商品によっては、たこ足配線等が原因で電圧が低下する恐れがありますので、ご注意下さい。

電圧が低下すると、商品が正常に動作しない場合がございます。

突然作動しなくなった場合は、建物のブレーカーが落ちた可能性がございます。

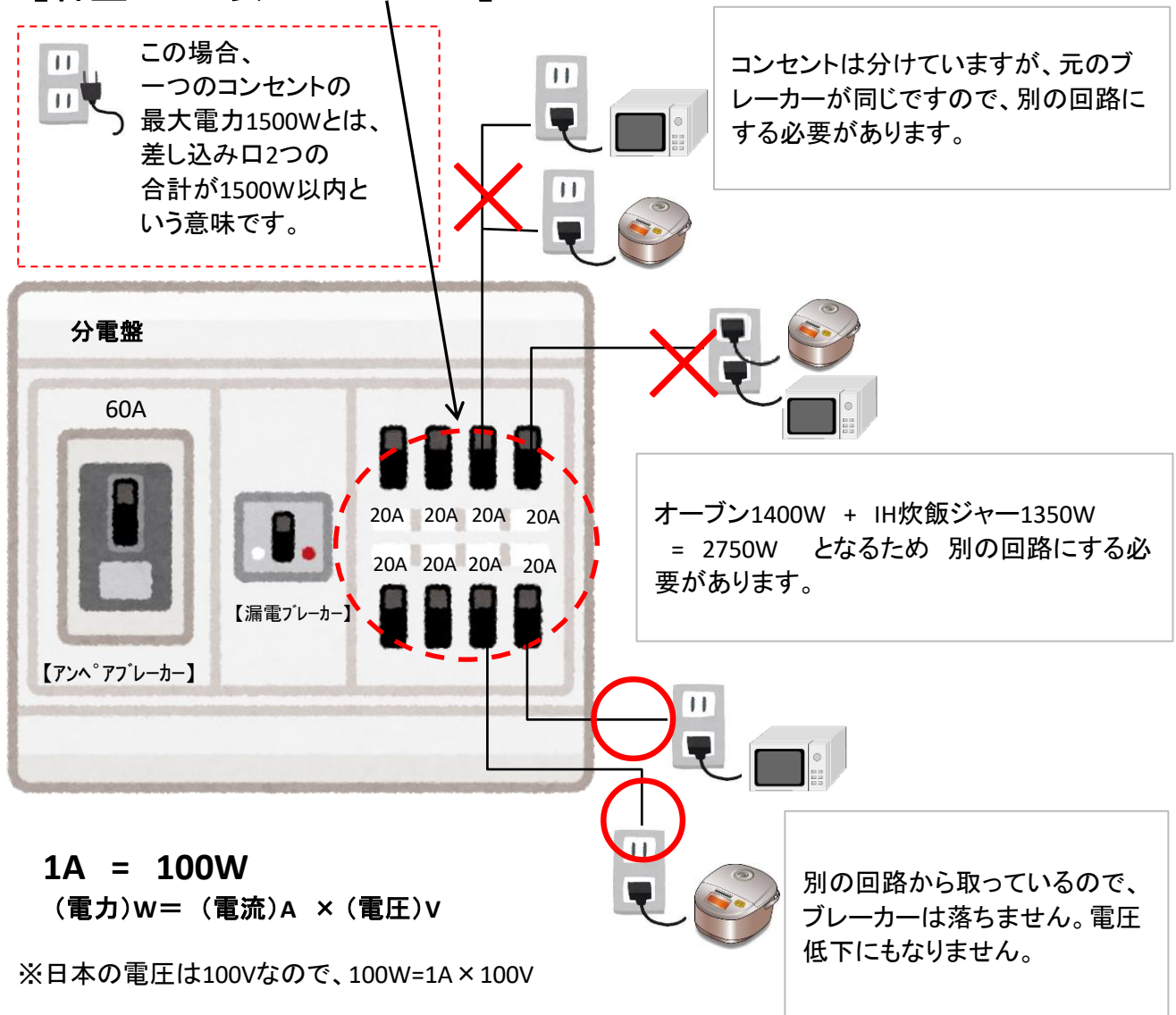
また、一つのコンセントの最大電力は1500Wまでとなります。

複数台の電化製品を使用する場合、コンセントを分けても元となるブレーカーが同じ場合は電圧低下となる可能性が高いです。

その場合、コンセントを分けるのではなく、ブレーカーの回路を分けてお使いください。

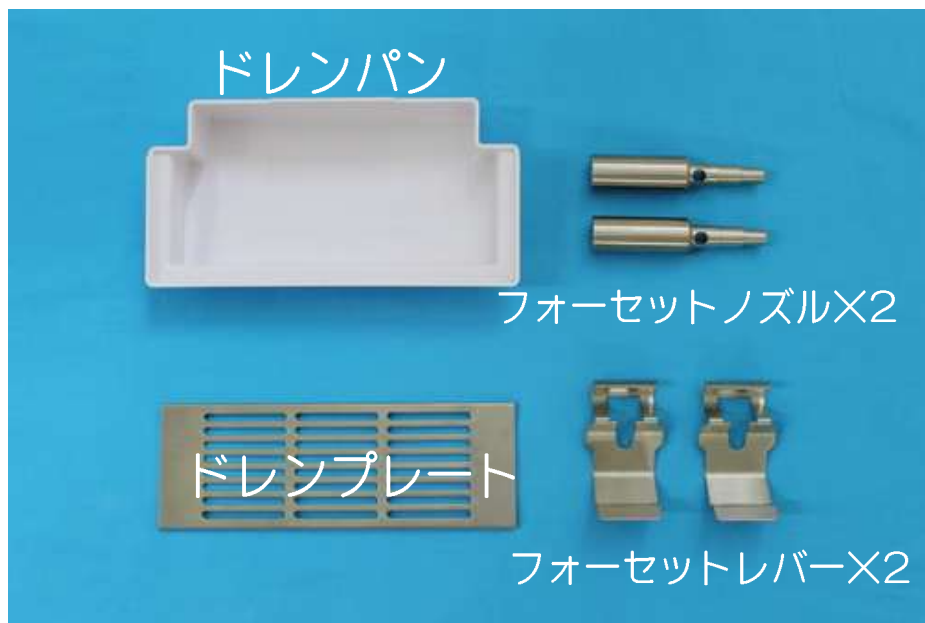
商品を正常にご利用いただく為に、お客様の利用環境を御確認ください。

【容量20Aの安全ブレーカー】



ステンレス製ドリンクサーバー (ドリンクスター) 作動確認方法

1. 本体・フォーセットノズル×2・フォーセットレバー×2・ドレンプレート・ドレンパン



部品と取扱説明書が全て揃っていることをご確認ください。

2.



セット後電源を接続し、電源スイッチをいれてください。10分間運転をさせて異音などの異常がないか、攪拌ポンプが回転することをご確認ください。

作動確認で異常が確認できた場合、
レンタル日前日の15時30分までに弊社までご連絡ください。



本製品をお使いになる前に

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。




表示と意味は次のようになっています。

【注意喚起シンボルとシグナル表示の例】

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害 [※] の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

【図記号の例】

 感電注意	△は、注意(警告を含む)を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	⊘は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令(強制)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

本製品をお使いになる前に
安全上のご注意

警告

●据付け時の警告



専門業者

- 据付工事は専門業者に依頼すること
ご自分で据付工事され不備があると、感電、火災の原因になります。



屋外禁止

- 屋外で使わないこと
雨水のかかる場所で使用されると、漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

- 湿気の多いところや、水のかかり易い場所に据え付けないこと
絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



専用電源

- 本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用すること
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびたこ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

- 電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること
電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になることがあります。



禁止

- 電源コードを傷つけないこと
加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



アース工事

- アース工事を必ずおこなうこと
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事業者による〇種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。)



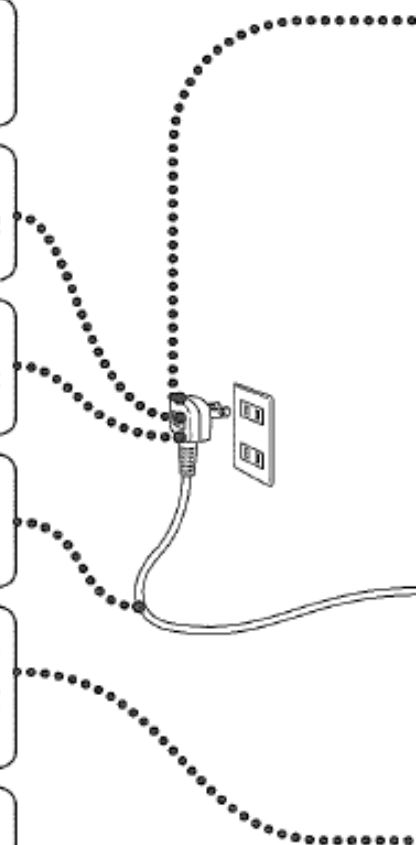
改造禁止

- 改造は絶対におこなわないこと
改造をされると、液漏れ、感電や火災の原因になります。



分解禁止

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解や修理をおこなわないこと
異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると、感電や火災の原因になります。



●操作時の警告



熱器具禁止

- 熱器具(ガスコンロ)などを乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと
熱でプラスチックが溶けたり、火災の原因になります。



ガス検知

- ガス器具などからガスが漏れていたら、本機の使用を中止し、ガスの元栓を開けて、窓を開けて換気すること
電源プラグを抜いたりしますと、引火爆発し、危険です。



接触禁止

- 機械内部の電気装置や配線に触れないこと
感電の原因になります。



接続

- 本機を使用中に専用電源(漏電遮断器付サーキットブレーカー)が「OFF(切)」に作動したときは、お買い上げ店に連絡すること
無理に専用電源(漏電遮断器付サーキットブレーカー)を「ON(入)」にすると、感電や火災の原因になります。



濡手禁止

- 濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたり、各スイッチを操作しないこと
感電の原因になることがあります。



点検清掃

- 電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように刃の根元まで確実に差し込むこと
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



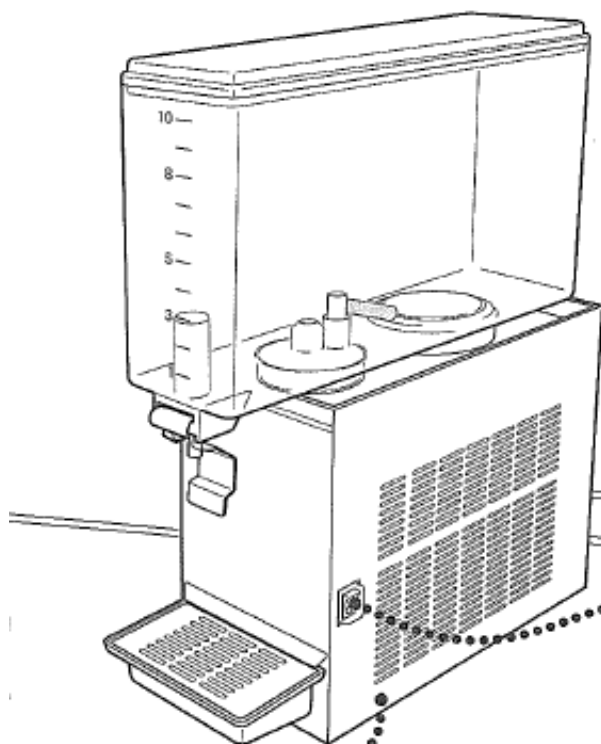
プラグを抜く

- 異常時は電源スイッチを切って電源プラグを抜くか、本機専用電源を「OFF(切)」にして、すぐにお買い上げ店へ連絡すること
異常のまま運転を続けると、感電、火災の原因になります。



水掛け禁止

- 本体に直接水をかけないこと
ショート、感電、錆、故障の原因となります。



●移設・廃棄時の警告



専門業者

- 移設時は専門業者か、お買い上げ店に相談すること
据え付け不備があると感電、火災などの原因になります。
- 廃棄時は専門業者か、お買い上げ店に依頼すること
放置しますと幼児などがケガをする原因になります。

本製品をお使いになる前に
安全上のご注意

⚠️ 注意

● 据付け時の注意



水平据付

- 丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

● 操作時の注意



開放禁止

- 容器蓋は開けたままにしないこと
ほこりやゴミが入ると雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。



入れ過ぎ禁止

- 容器前面の液面表示印「10」より上には飲料を入れないこと
運転中にあふれて周囲を汚す原因になります。



接触禁止

- フォーセットレバーに必要以外、手や物を触れさせないこと
フォーセットノズルより飲料が出っぱなしになり、周囲を汚す原因になります。



禁止

- 電源プラグを抜く時は、電源コードを持って抜かないこと
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



プラグを抜く

- 一週間以上ご使用にならない場合は、安全のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くこと
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱・発火の原因になることがあります。



プラグを抜く

- 清掃する時や点検のときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグも抜くこと
感電したりケガの原因になることがあります。



動作確認

- 漏電遮断器は月に1回動作確認をすること
漏電遮断器は故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。





可燃物禁止

- 可燃性のスプレーを近くで使用したり、近くに可燃物を置かないこと
発火の原因になることがあります。



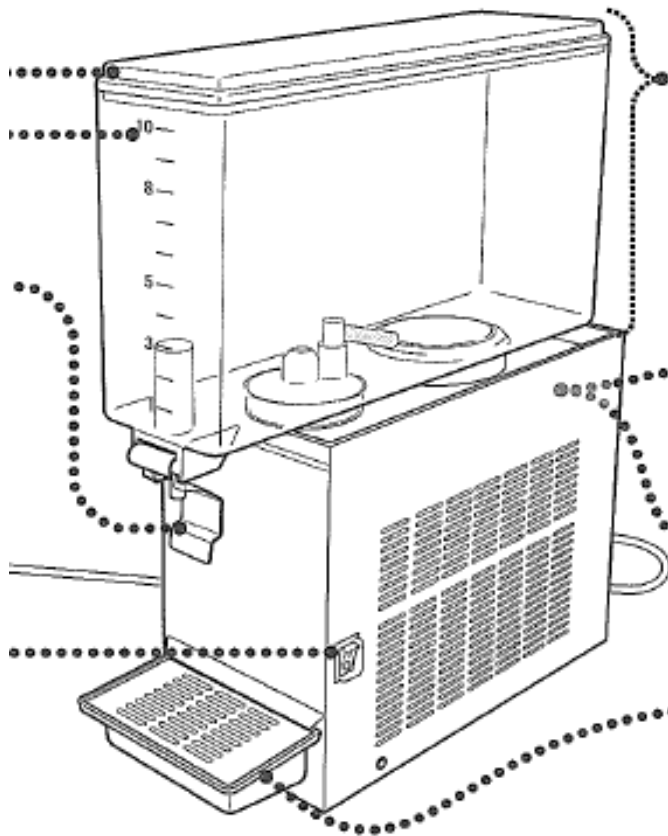
熱器具禁止

- 熱器具(ガスコンロ)などを乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと
熱でプラスチックが溶けたり、火災の原因になります。



飲料抜き取り

- 閉店後は容器内の飲料(ジュース類)を抜き取ることを
抜き取った飲料は、清潔な容器に入れて冷蔵庫で保管してください。
運転を止めてそのままにしておいた飲料は雑菌が繁殖し健康障害の原因になることがあります。



毎日洗浄

- フォーセットノズル、容器、ガスケット、攪拌ポンプ部、クーリングプレートなど飲料に接する部分は、毎日洗浄、清掃すること
洗浄しないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。



洗い流す

- 洗剤を使ったあとは、洗剤成分を十分に洗い流すこと
飲料の味や香りを悪くし、健康障害の原因になることがあります。



挿入禁止

- 空気の吸込口や吹出口に指や棒などを入れないこと
内部でファンが高速回転しておりますので、ケガの原因になることがあります。



接触禁止

- エアフィルターを取付け、取外し時は、凝縮器のフィンに直接手を触れないこと
ケガの原因になることがあります。



ドレンパン

- ドレンパンにたまった飲料などは、あふれるまえに捨てること
あふれると、カウンターや床を汚す原因になります。

● 転売や譲渡するときの注意



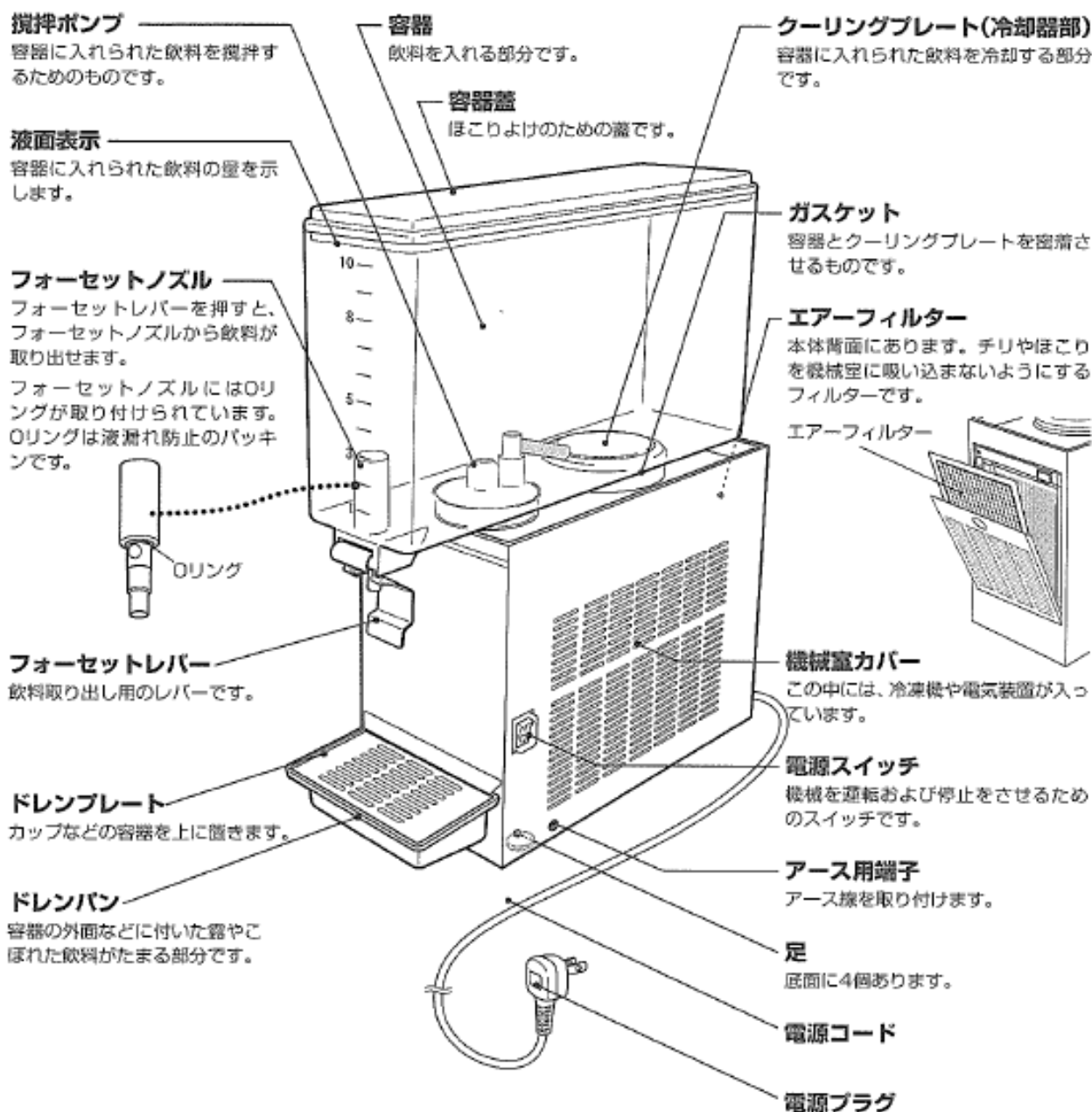
テープ止め

- このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡される時には、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ場所にテープ止めすること

本製品をお使いになる前に
各部の名称とはたらき

各部の名称とはたらき

本機は、飲料(ジュース類)を冷却して展示、販売する機械です。



※ DS-10SCFとDS-10WCFは、共通な部品を使用しています。
上図はDS-10SCFで説明しています。

梱包内容一覧

パッケージには、次のものが入っています。足りない場合は、お買い上げ店にお問い合わせください。

内容物	DS-10SCF	DS-10WCF
本体	1個	
容器	1個	2個
容器蓋	1個	2個
フォーセットノズル(フォーセットノズルOリング取り付け済み)	1個	2個
予備用フォーセットノズルOリング	1個	2個
フォーセットレバー	1個	2個
攪拌ポンプ	1セット	2セット
ドレンパン(ドレンプレート取り付け済み)	1個	
ガasket	1個	2個
フォーセット洗浄ブラシ	1本	
取扱説明書(本書、保証書付)	1冊	

●梱包内容を確認したら

据付け場所を確認してください

本機を据え付ける場所を確認してください。
据付け時の警告と注意については、「安全上のご注意」(1ページ)を参照してください。

本機を洗浄してください

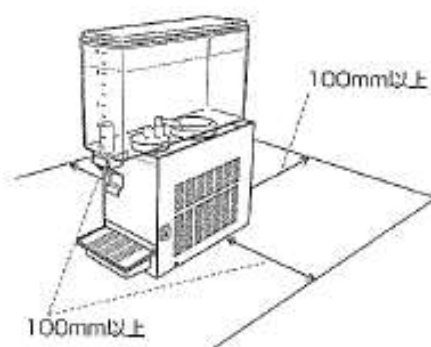
本機を組み立てる前に、容器やフォーセットノズル、攪拌ポンプなどを洗浄してください。
洗浄方法については、「毎日のお手入れ」(12ページ)を参照してください。

本機を組み立ててください

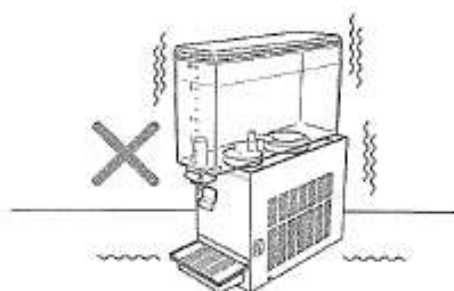
洗浄後、本機を組み立ててください。
組み立て方法については、「●洗浄後の部品の組み立て」(15ページ)を参照してください。

据付けについて

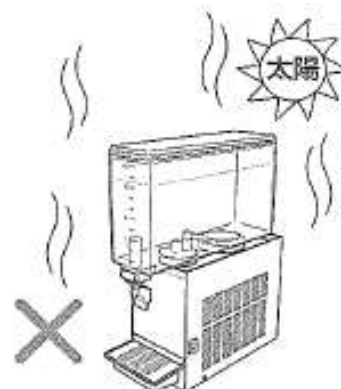
- 作業に支障がないように、十分なスペースを確保してください。
本機のまわりは100mm以上空けておいてください。



- 丈夫で平らな場所に水平になるように据え付けてください。
据付けに不備があると、転倒・落下によるケガなどの原因になることがあります。
- 振動のない場所へ据え付けてください。

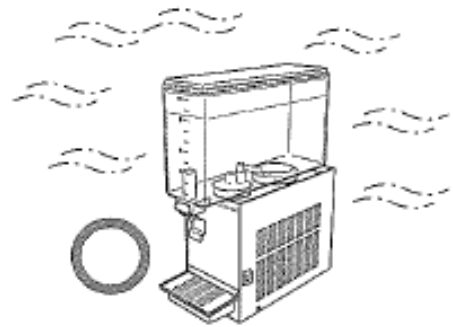


- 凍結の恐れのある場所へは据え付けしないでください。
周囲温度が0℃以下になるような場所には据え付けしないでください。飲料が凍結して容器の破損の原因になります。
- 直射日光のあたるところや、周囲温度が32℃を超える高温の場所には据え付けしないでください。
容器などが変形・色あせしたり、冷えが悪くなります。



● 風通しの良い場所に据え付けてください。

風通しが悪いと、熱気がこもり、本機の寿命を短くしたり漏電の原因となります。



● 本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用してください。

● 本機は、コンセントに電源コードを接続した場合、コードに余裕があるように据え付けてください。(電源コードの長さ：1.8m)

● 水のかからないところに据え付けてください。

本体と電源コードに水が掛かりますと、漏電、感電の原因になります。

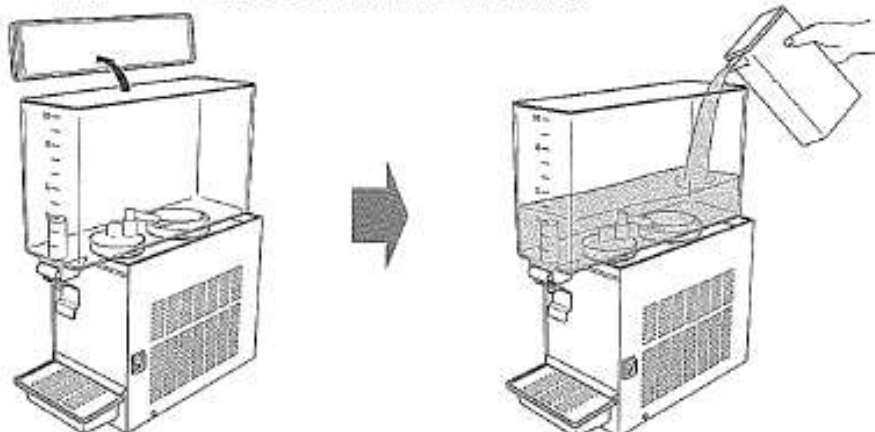
● アース工事を必ずおこなってください。

アースは電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。ガス管、水道管、電話のアース線、避雷針などには危険ですから絶対にアース線を接続しないでください。

1 操作のしかた

運転をするには

1 容器蓋を開け、飲料(ジュース類)を容器に入れてください。



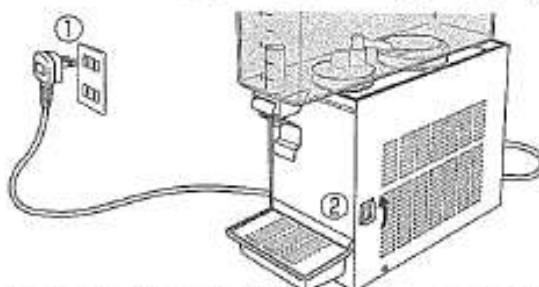
お願い

- ・10L以上は入れないでください。
- ・DS-10WCFをお使いの場合は、片方の容器しか使わない場合でも、もう片方の容器には水を入れて、左右の容器の飲料は、できるだけ等量になるようにしてください。片方が空になったり、極端に少なくなると、飲料が凍る恐れがあります。
- ・容器には飲料(ジュース類)以外のは入れないでください。容器や攪拌ポンプの破損、機械の故障の原因になることがあります。
- ・粘度の高い飲料や、粒入りジュースは使用しないでください。うまく攪拌されず、均一に冷えません。またフォーセットノズルが詰まったり、飲料が漏れたりします。
- ・乳製品を使用される場合は、地元の保健所に相談し、指導を受けてください。
- ・容器に30℃以上の熱い飲料(コーヒー、麦茶など)を入れしないでください。機械が故障する可能性がありますので、冷ましてから入れてください。



2 容器蓋を閉めてください。

3 電源プラグを専用コンセントに差し込み①、電源をON(I)にしてください②。
飲料の冷却を開始します。



4 飲料が冷えるのを待ってください。
(冷却能力は仕様欄をご参照ください。)

飲料を取り出すには

- 1 コップを持ち、フォーセットレバーを押してください。
飲料がコップに注がれます。



メモ

フォーセットレバーを押すと、フォーセットノズルが上がり、容器内の飲料が出てくる仕組みです。

飲料が少なくなったら…。

容器蓋を開け、飲料を継ぎ足してください。

お願い

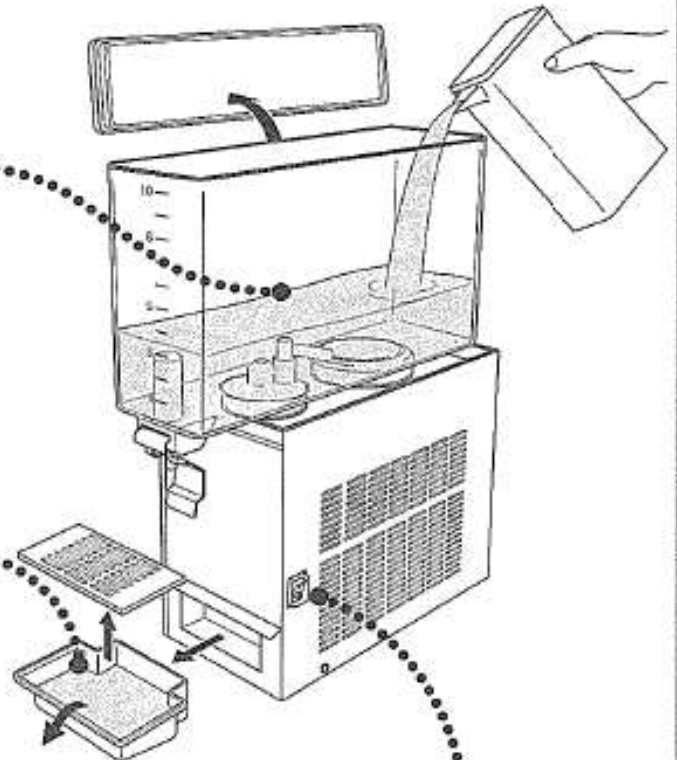
容器の飲料が残り1Lになる前に継ぎ足してください。1L未満になると、容器内の飲料が凍る可能性があります。

飲料などがたまったら…。

ドレンパン内の飲料などがたまったら、ドレンパンを取り出し、捨ててください。

△注意

ドレンパンにたまった飲料などは、あふれる前に捨ててください。ドレンパンからあふれると、カウンターや床を汚す原因になります。

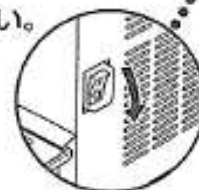


運転を停止するには

- 1 運転を停止するときは、電源スイッチをOFF(O)にしてください。

お願い

運転を停止してすぐに運転を再開すると、冷凍機に負担がかかり、故障の原因になります。必ず3分以上時間をおいてください。



2 お手入れについて

毎日のお手入れ

警告

- 本体に直接水をかけないでください。ショート、感電、錆、故障の原因になります。

お願い

- 洗浄後、保管される場合は、各部品を充分乾燥させてアルコール除菌剤をスプレーしてください。
- 次亜塩素酸ソーダを含む除菌剤や電解酸性水は、部品の劣化、および変質の原因になりますので使用しないでください。

メモ

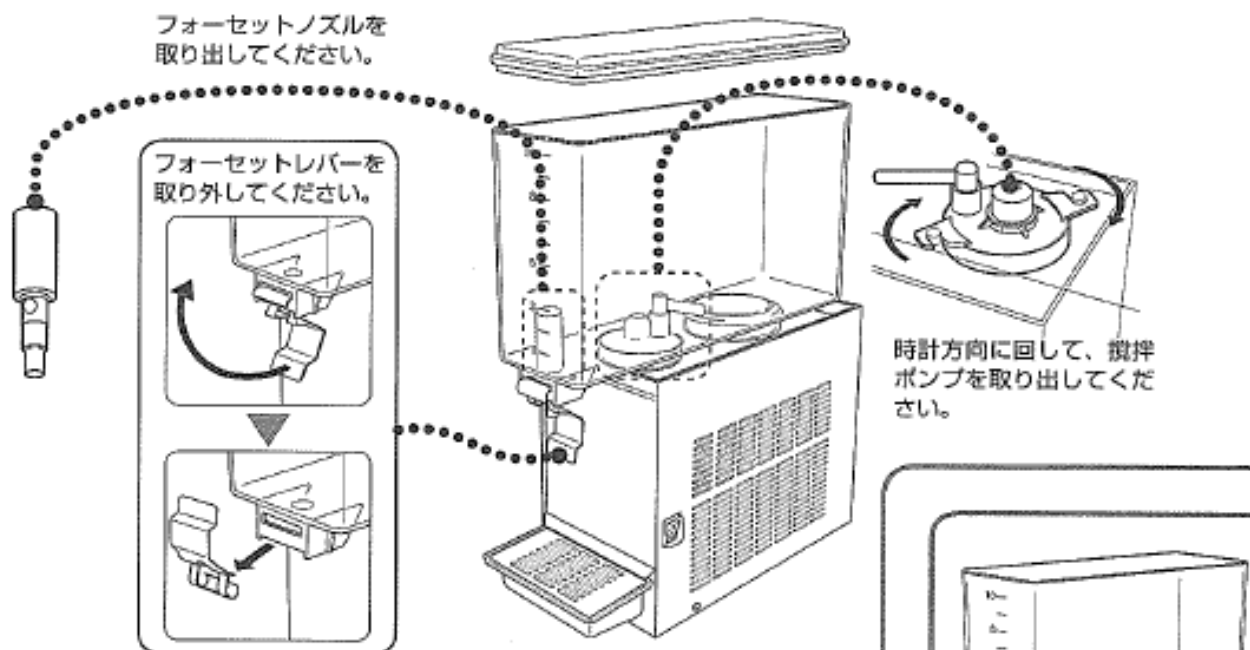
- 本機のお手入れには、下記のものをご使用ください。
 - ・ 除菌洗浄剤 …… 無泡性で、厨房設備および調理器具用のもの。
 - ・ アルコール除菌剤 …… 厨房設備および調理器具用のもの。
 - ※ 上記のものは、弊社(エフ・エム・アイ)でも取り扱っていますので、入手が困難な場合は、弊社にご注文ください。
- 乳成分を含む飲料を使用した際は、乳脂肪専用の洗浄剤をご使用ください。弊社では、乳脂肪専用の洗浄剤「ミルククリーン」を取扱っています。

● 容器と容器内の部品の洗浄

容器、容器蓋、攪拌ポンプ、フォーセットノズル、フォーセットレバー、ガスケットを洗浄します。

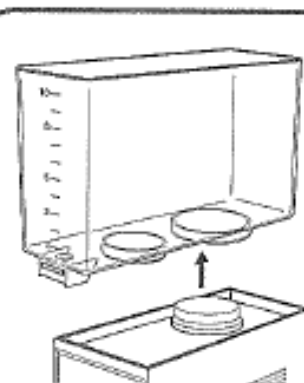
1 フォーセットレバーを押し、容器内の飲料をすべて取り出してください。

2 容器蓋を開け、フォーセットノズル、フォーセットレバー、攪拌ポンプを取り出してください。

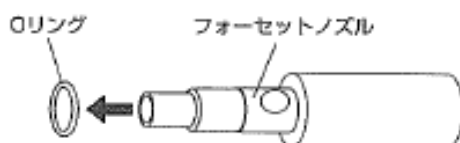


3 本体から容器とガスケットを取り外してください。

- ① 本体から容器を取り外してください。
- ② 本体からガスケットを取り外してください。



4 フォーセットノズルからOリングを抜き取ってください。



お願い

- ・Oリングは傷つきやすいので、抜き取りには鋭利な器具を使用しないでください。
- ・Oリングを失くさないようにしてください。

5 容器、容器蓋、ガスケットを洗浄してください。

容器、容器蓋、ガスケットを除菌洗浄剤を入れて溶かしたぬるま湯で洗浄し、洗浄成分が残らないように十分にすすいでください。

お願い

ガスケットは洗浄の際、ツメなどで傷を付けないよう注意してください。傷がつきますと液漏れの原因になります。

6 フォーセットノズル、Oリング、フォーセットレバーを洗浄してください。

フォーセットノズル、Oリング、フォーセットレバーを除菌洗浄剤を入れて溶かしたぬるま湯で洗浄し、十分に水洗いして洗剤成分をよく落としてください。フォーセットノズルと、フォーセットレバーは、付属のフォーセット洗浄ブラシを使用してください。

お願い

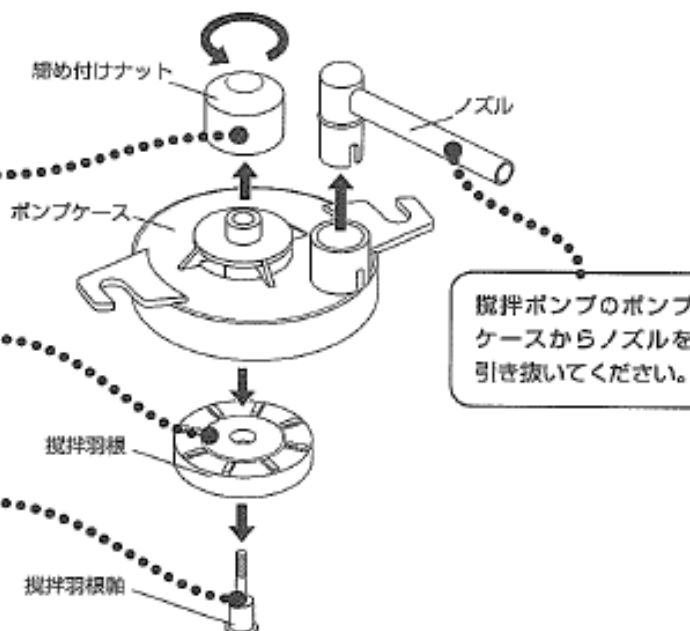
Oリングはブラシで洗浄しないでください。

7 攪拌ポンプを分解してください。

① 締め付けナットを反時計方向に回して取り外してください。

② ポンプケース裏側から攪拌羽根を取り外してください。

③ 攪拌羽根から、攪拌羽根軸を引き抜いてください。



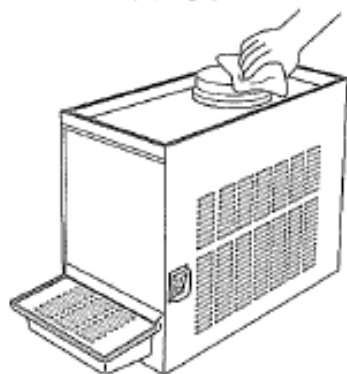
攪拌ポンプのポンプケースからノズルを引き抜いてください。

8 手順7で分解した攪拌ポンプの部品を洗浄してください。

ノズル、締め付けナット、ポンプケース、攪拌羽根、攪拌羽根軸を除菌洗浄剤を入れて溶かしたぬるま湯で洗浄し、十分に水洗いして洗剤成分をよく落としてください。ポンプケース、ノズルは、付属のフォーセット洗浄ブラシを使って洗浄してください。

●クーリングプレートと天板の清掃

1 クーリングプレートと天板を拭いてください。

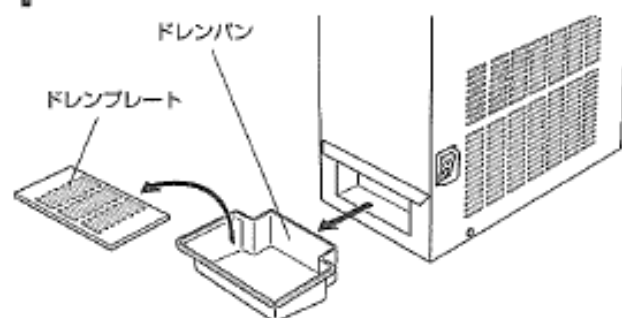


- ・除菌洗剤を入れて溶かした水で絞ったきれいな布で、クーリングプレートと天板の汚れを拭いてください。
- ・汚れを拭き取った後は、水を含ませた布で2～3回きれいに拭き、洗剤成分を完全に拭き取ってください。

2 クーリングプレートと天板にアルコール除菌剤をスプレーして除菌してください。

●ドレンパンとドレンプレートの洗浄

1 ドレンパンを取り外してください。



- ・ドレンパンを本体から取り外してください。
- ・ドレンプレートをドレンパンから取り外してください。

2 ドレンパン内のこぼれた飲料を捨ててください。

3 ドレンパンとドレンプレートを食器用中性洗剤を使って洗ってください。

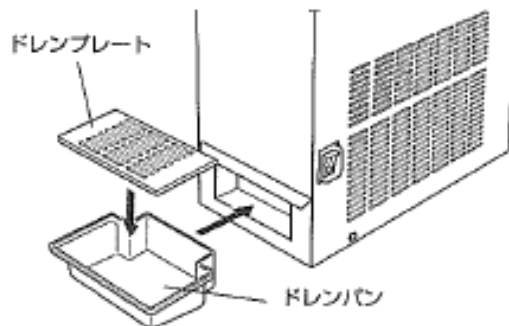
洗浄後は、洗剤成分が残らないように十分にすすいでください。

これで、容器や攪拌ポンプ、フォーセットノズルやクーリングプレートなどの洗浄・清掃ができました。洗浄後は各部品を組み立ててください。

●洗淨後の部品の組み立て

洗淨後は各部品を組み立ててください。

1 ドレンパンを取り付けてください。



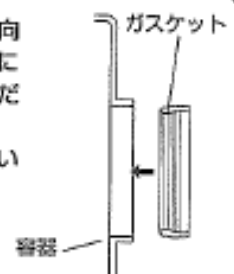
- ・ドレンプレートをドレンパンに取り付けてください。
- ・ドレンパンを本体に差し込んでください。

2 容器底にガスケット(パッキン)を取り付けてください。

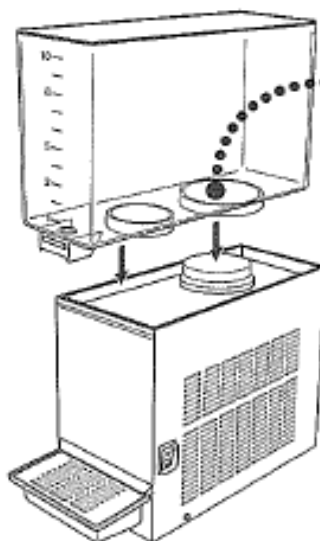


メモ

- ・ガスケット(パッキン)の取り付け方向(細くくびれている側が容器側です)に気をつけて、容器底に取り付けてください。
- ・ガスケットの取り付け方が正しくない場合は、液漏れの原因になります。



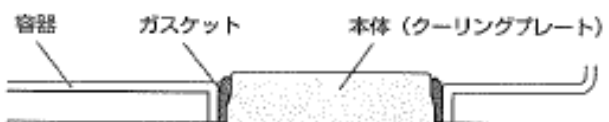
3 容器を本体に取り付けてください。



本体上面のクーリングプレートに対して、容器に取り付けたガスケット(パッキン)がはまるように取り付けます。本体上面と平行になるように取り付けてください。

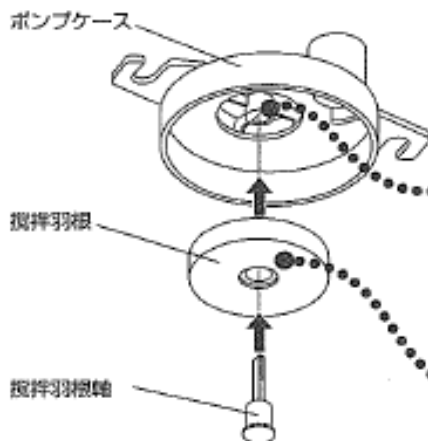
メモ

- ・あらかじめガスケット(パッキン)の内側を少し水で濡らしておくと、スムーズに取り付けられます。
- ・クーリングプレートの上画が出るまで、容器を取り付けてください。

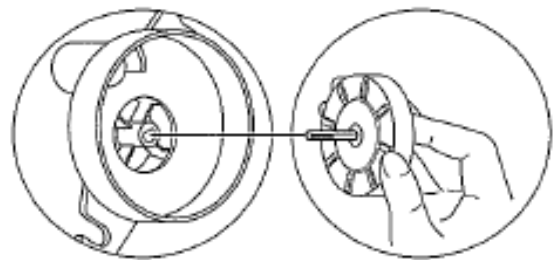


4 ポンプケースを組み立ててください。

攪拌羽根と攪拌羽根軸の取り付け

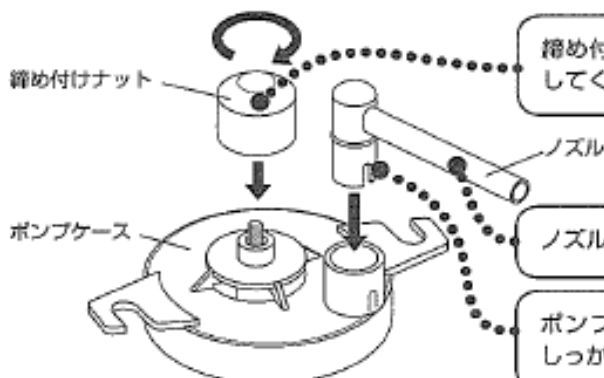


ポンプケース裏の穴部の半円形の形状と、攪拌羽根軸の形状とが合うように差し込んでください。



攪拌羽根は、羽根の付いている面が上になるようにしてください。

攪拌羽根軸の固定とノズルの取り付け

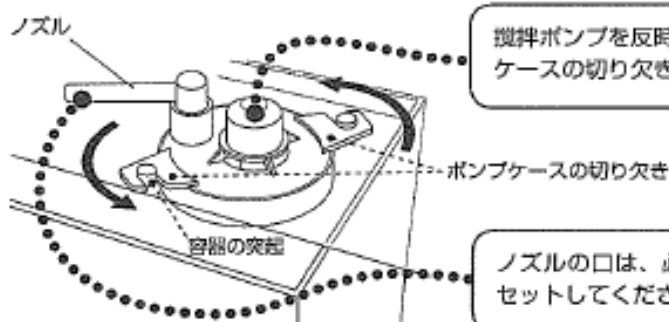


締め付けナットを時計方向に回して攪拌羽根軸を固定してください。

ノズルをポンプケースに取り付けてください。

ポンプケース穴の凸部とノズルの凹部が合うようにしっかりと差し込んでください。

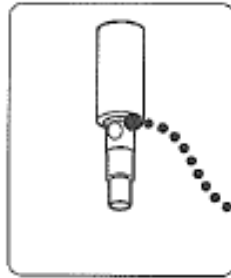
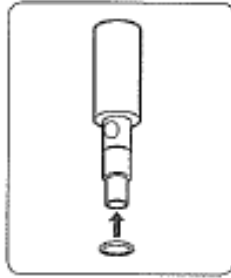
5 容器内に攪拌ポンプを入れ、容器底(穴の開いていない側の凹部)に攪拌ポンプを固定してください。



攪拌ポンプを反時計方向に回し、容器の突起に、ポンプケースの切り欠きがはまるようにしてください。

ノズルの口は、必ずクリーニングプレートに向くようにセットしてください。

6 フォーセットノズルにOリングを根元まではめ込んでください。

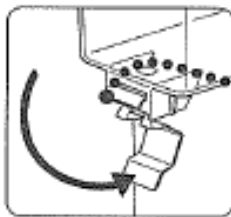
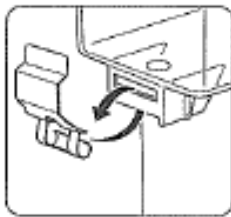


お願い

Oリングは傷がつきやすいので、抜き取りには鋭利な器具を使用しないでください。

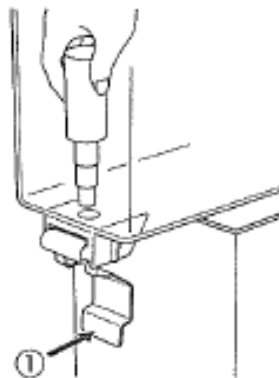
Oリングは、フォーセットノズルの根元までしっかりとはめ込んでください。根元までしっかりとはめ込まれていない場合、液漏れの原因になります。

7 フォーセットレバーを、容器に引っ掛けてください。



この部分を奥から手前側へひっかけます。

8 フォーセットノズルを取り付けてください。



フォーセットレバーの下側を押しながら①、フォーセットノズルを容器の内側から、フォーセットノズルの穴に差し込んでください。

お願い

フォーセットノズルは静かに差し込んでください。手を放して落とすようにしたりしないでください。容器の穴部に傷が付きますと、液漏れを起こします。

9 取り付けの確認をしてください。



フォーセットレバーを数回押して、フォーセットノズルがスムーズに上下するか確認してください。

容器蓋を容器に取り付けてください。

汚れが目立つときのお手入れ

●本体のお手入れ

1 柔らかい布で本体を拭いてください。

△注意



本体に直接水をかけないでください。ショート、感電、錆、故障の原因になります。

メモ

本体外装はステンレス製ですが、お手入れを怠ると錆びる場合があります。

2 汚れがひどいときは、中性洗剤を入れたぬるま湯で拭いたあと、洗剤成分が残らないように水で拭き取ってください。

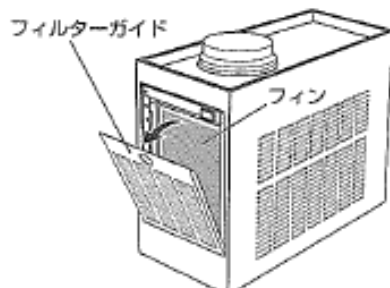
1ヶ月に1回のお手入れ

●エアフィルターのお手入れ

お願い

必ず、週に一度エアフィルターのお手入れをおこなってください。
エアフィルターにゴミやほこりがたまると、正常な運転ができなくなり故障の原因となります。

1 本体背面のフィルターガイドを開けてください。



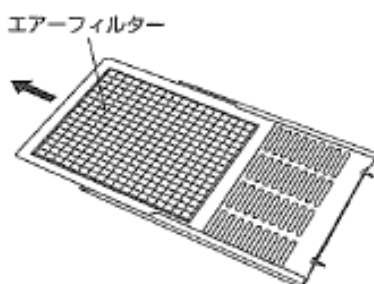
フィルターガイドの穴に指をひっかけて引いてください。

△注意



エアフィルターを洗浄するため取り外す際、凝縮器のフィンに直接手を触れないでください。
ケガの原因になることがあります。

2 エアフィルターを取り出してください。



3 中性洗剤を入れたぬるま湯でネットを破らないように注意して洗ってください。

中性洗剤を使ったときは、洗剤成分が残らないように十分すすいでください。

4 洗った後は、日陰で十分乾かしてください。

5 乾燥後は、元通り取り付けてください。

お願い

フィルターガイドを外したまま運転しないでください。
故障の原因となります。

1ヶ月に1回の点検

●漏電遮断器の動作確認

△注意



1ヶ月に1度は漏電遮断器の動作確認をおこなってください。漏電遮断器を故障したまま使用すると、漏電のときに動作せず、感電の原因となります。

1

漏電遮断器のテストボタンを指先で押してください。

2

「OFF(切)」に切り換われば正常に動作しています。

お願い

レバーが「OFF(切)」に切り換わらないときは、漏電遮断器が故障しています。すぐに電気工事業者へご連絡ください。

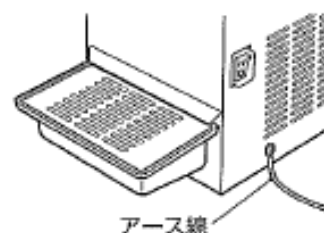
3

3分間待ってから、「ON(入)」にしてください。

年に1～2回の点検

●アース線の点検

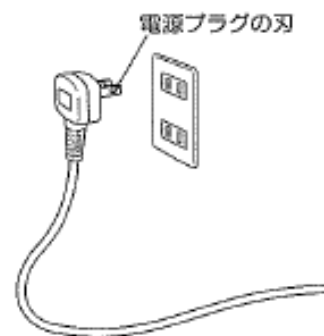
アース線が切れたり接続部が緩んでいませんか？
異常の場合は電気工事業者に修理を依頼してください。



●電源プラグの点検

次の項目を点検してください。

- 電源プラグが、専用のコンセントに入っていますか？
他の機器との共用を中止し、専用のコンセントを用意してください。
- 電源プラグや電源コードに異常な発熱や破損、重いものが乗ったり、挟み込まれていませんか？
異常な発熱や破損がある場合は、すぐにお買い上げ店へ修理を依頼してください。
- 電源プラグの刃と刃の取り付け面およびコンセントにほこりがついていませんか？
ほこりがついている場合は、電源プラグを抜いて清掃して取り払ってください。



修理を依頼する前に

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。
 症状が改善されないときや、「処置の方法」の欄に「お買い上げ店にご連絡ください。」の症状の場合は、本機の電源を切り、早急にお買い上げ店までご連絡ください。

※ご連絡の場合は、本機の型式名、機番、お買上げ日、故障状況(できるだけ詳しく)をお知らせください。

症状	確認すること(または原因)	処置の方法
まったく冷えない	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	電源プラグが抜けていませんか？	抜けているときは、コンセントに差し込んでください。
	漏電遮断器のレバーの位置が『OFF(切)』になっていませんか？	漏電遮断器が『OFF(切)』に作動した場合には、お買い上げ店に連絡してください。レバーが『OFF(切)』になっていると漏電している可能性があります。無理にレバーを『ON(入)』にすると、感電や火災の原因になります。
よく冷えない	周囲温度が32℃を超えていませんか？	換気扇などで換気して、周囲温度を下げてください。
	外部から熱気の影響を受けていませんか？	熱源を遠ざけてください。
	本機の周囲に物を置いて風通しが悪くなっていませんか？	物を取り除いてください。
	エアフィルターにゴミが詰まっていますか？	エアフィルターを洗浄してください。
	熱い飲料が入っていませんか？	冷ましてから入れてください。
	日光の直射を受けていませんか？	直射日光の当たらない場所に移設してください。
	運転中に電源スイッチを『OFF(O)』『ON(I)』にしませんでしたか？	しばらく様子を見てください。
	攪拌ポンプの取り付け方向が前後逆向きになっていませんか？	ノズルがクーリングプレートに向くように攪拌ポンプを取り付けなおしてください。
異常音がする	運転中は運転音の他にコンプレッサーの起動、停止時に動作音がします。これは異常ではありません。	
	丈夫な床の上に設置していますか？	弱い場合はお買い上げ店へご連絡ください。
	据え付けが悪く、がたついていませんか？	水平で平らな場所に据え付けてください。
	本機に何か触れた状態になっていませんか？	接触しているものを取り除いてください。
	攪拌ポンプ部から異常音がしていませんか？	容器を正しくはめ込んでください。

症状	確認すること(または原因)	処置の方法
容器のはめ込み部から飲料が漏れる	ガスケットのはめ込みが悪くありませんか？	ガスケットを容器にきっちりはめ込んでください。
	容器のはめ込みが悪くありませんか？	容器をクーリングプレートに正しくはめ込んでください。
	ガスケットが損傷していませんか？	損傷していれば交換してください。
フォーセット部から飲料が漏れる	フォーセットノズルのOリングを付け忘れていませんか？	Oリングをフォーセットノズルにはめ込んでください。
	フォーセット部の組み立て方が悪くありませんか？	正しく組み立てなおしてください。
	フォーセットノズルに異物が詰まっていますか？	異物を取り除いてください。
	フォーセットノズルのOリングが損傷していませんか？	損傷していれば交換してください。
	容器のフォーセットノズル差し込み穴部に傷がついていませんか？	傷がついていれば、容器の交換が必要です。
	粒入りジュースを使用していませんか？	粒入りジュースは使用できません。
攪拌されない	電源スイッチを入れ忘れていませんか？	電源スイッチを入れてください。
	攪拌ポンプの装着を忘れていませんか？	攪拌ポンプを装着してください。
飲料が凍る	飲料が少なすぎではありませんか？	飲料が少なくなると飲料が凍る恐れがあります。1L以下になる前に飲料をつぎ足してください。
	片方の容器だけ飲料を入れていませんか？	DS-10WCFをお使いの場合、片方の容器だけを使用する場合でも、飲料を入れない側の容器に3L程度の水を入れてください。片方の容器を空にすると、冷却能力が低下します。
	左右両方の容器に飲料を入れていませんか？	DS-10WCFをお使いの場合、両方の容器の飲料の量はできるだけ等量になるようにしてください。片方が極端に少なくなると、飲料が凍る恐れがあります。

仕様



品名	ステンレス製ドリンクサーバー（ドリンクスター）
電源	100V 50/60Hz
消費電力	290W
コード長さ	1.8m
外形寸法	幅 25.7×奥行 44×高 58 c m
梱包寸法	幅 34.5×奥行 56×高 66 c m
タンク容量	10L×2
本体重量	24.5Kg
攪拌方式	攪拌ポンプによる噴射式
冷却能力	室温 30℃、容量 10L+10L 飲料温度 25℃→4℃到達約 160 分
冷却温度	3～7℃
付属品	予備用ボウルパッキン×1 予備用シリンダーパッキン×1

【ドリンクスター】

返却時の梱包手順

ドリンクサーバーはご返却時に軽く水でゆすいで頂きます。
ご使用後タンク内の飲み物を全て出して、水を入れて注水レバーで水を
抜き取るのを2~3回繰り返してから梱包してください。

①		<ul style="list-style-type: none">• コードをまとめます。
②		<ul style="list-style-type: none">• フォーセットノズルを取り外します。 <p>両側のフォーセットノズルを上引き抜いてください。</p>
③		<ul style="list-style-type: none">• フォーセットレバーを取り外します。 <p>両側のフォーセットレバーを手前にクルンと持ち上げて外してください。</p>

④		<ul style="list-style-type: none"> • ドレンプレートとドレンパンを外します。 <p>手前に引き出してください。</p>
⑤		<ul style="list-style-type: none"> • フォーセットレバーをドレンパンの中に入れて、袋の中に入れてください。 <p>フォーセットノズルは 1 本ずつ袋に入れてください。</p>
⑥		<ul style="list-style-type: none"> • 下箱を用意します。 <p>箱の下に PP バンドを引いておくと、手間が省けます。</p> <p>箱の「前」を確認してください。</p>
⑦		<ul style="list-style-type: none"> • 束ねたコードと機械部分を一緒に持ちます。

⑧		<ul style="list-style-type: none"> • 機械の対称角を持って運んでください。 <p>もしくは2名での作業をおすすめします。</p>
⑨		<ul style="list-style-type: none"> • NG 例 <p>ボウル部分は持たないでください。不安定なため、落下破損の原因になります。</p>
⑩		<ul style="list-style-type: none"> • 本体と箱の「前」を合わせてください。機械横のコード収納箇所、コードをしまってください。 <p>コードはしっかり箱の中にしまってください。</p>
⑪		<ul style="list-style-type: none"> • 袋に入れたドレンパン・ドレンプレート・フォーセットレバーを所定の場所に入れます。

⑫		<ul style="list-style-type: none"> • 袋に入れたフォーセットノズル 2 本を所定の場所に入れてください。
⑬		<ul style="list-style-type: none"> • 返却備品 ドレンパン ドレンプレート フォーセットレバー フォーセットノズル <p>がきちんと所定の場所にあるか確認してください。返却忘れにご注意ください</p>
⑭		<ul style="list-style-type: none"> • 機械の上を取扱説明書をおいてください。 <p>上箱をかぶせます。</p>
⑮		<ul style="list-style-type: none"> • PP バンドをとめてください。 <p>PP バンドのとめ方は取り扱い説明書最終ページにある「梱包時 PP バンドの使用方法」にてご確認ください。</p>

▼返却用の伝票を指定の位置に貼り付けてください。
返却用伝票は弊社にてご用意させていただきます。
梱包の箱に貼り付けてあります。

お届け時の伝票の下にある赤い伝票が
返却用の伝票です。



梱包時PPバンドの使用法

①



輪をつくる。

②



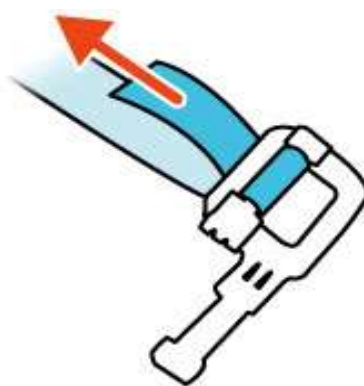
作った輪をストッパーに通す。

③



1本の足を輪の中に折りたたむ。

④



バンドを矢印の方向に引っ張る。

⑤



荷物に回したもう片方の
バンドも同様に通す。

⑥



ひもを両端に引っ張り、
しっかり締める。



手順を参考にしても分からない場合は、
動画でも確認できます。

QRコードまたは下記リンクから
ご視聴ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=8ZejU--OkI4>